

実践記録

学校 / 学年	小学校 / 6 年	
教科等：単元名	安全なインターネット活用のために	
キーワード	情報モラル 安全	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応することができる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d3-1：予測できる危険の内容がわかり、避ける。
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	ホームページの中には危険なものもあることを知り、自分で情報の信憑性や危険回避ができるようになる。	
使用教材	教材名	「はむはむのオンライン教室」
	製作者	(株)ベネッセ
	入手先 (URL 等)	http://www.teacher.ne.jp/students/onlineroom/homepage/index.html

○展開

	学習活動	指導 評価
導 入	インターネットをしている時に危険を感じたことはあるか話し合う。	
展 開	「はむはむのオンライン教室」の中のリンクを見ていき、危険な箇所はないか考えていく。また、どこがどのように危ないのかを確認する。	ホームページのどこが危険なのか理解したか。 情報の信頼性に気づくことができたか。 ・クリックしたことで、その後どうなるか予測を考える。 ・どう危険なのかを説明する。
お わ り	インターネットを使用する際に気をつけなければならないことは何か考える。	危険回避のためにはどう気をつけたら良いか考えることができたか。また理解したか。

○授業の成果

- ・とても良い教材だと思いました。子どもたちの中には、ホームページの危険性に対して認識がない子もいて、様々な危険が体験できたので良かった。

○指導のポイント・留意点

- ・全ての情報を鵜呑みにしないことを前提に、HPを見る必要があることをおさえる。
- ・子どもたちが危険予測を立てられるよう助言する。